

伐根に刈払機の刃が当たりキックバックし、ハンドル・シャフトポールが右足大腿部に当たった

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：6月 ▶FW研修：3年目
▶年齢：36歳 ▶受傷部位：右足 ▶傷病名：大腿筋挫創 ▶作業内容：下刈り

発生状況

平坦地でUハンドルの刈払機により下刈りを実施。

刈払い中に雑草により見えなかった伐根に刈払機の刃が当たり、キックバックし、刈払機が手前に跳ね返った。

この時にハンドル・シャフトポールが右足大腿部に当たり筋挫傷となった。



原因

刈払機のキックバックしやすい刃の部分、伐根に当たったことによる反発。

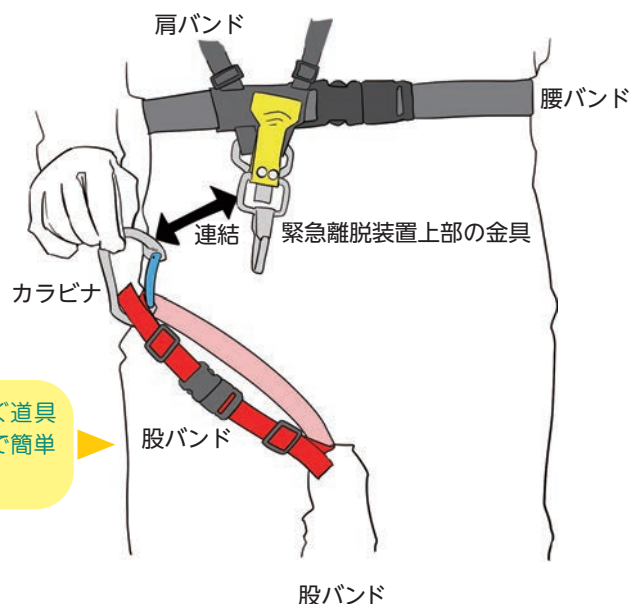
再発防止対策

- 伐根、石などの下刈りの障害物を想定して慎重な刈払いを行う。
- 腰バンド、股バンドを使用し、刃、ハンドル等の接触を防ぐ。



刈払い作業の安全装備

肩バンド、腰バンド、股バンドに加えてプロテクター等、しっかり装備をしてから作業にのぞみます



刈払機のずれ上りを防ぐ道具です。平バンドとバックルで簡単に自作できます



刈払機用の専用ハーネス

作業がしやすくなり疲れにくくなるので専用ハーネスの着用がおすすめです

切り株に刈刃が接触しキックバックが発生。右足のくるぶし下(内側)に刃が当たり切創した

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：7月 ▶FW研修：1年目
- ▶年齢：32歳 ▶受傷部位：右足 ▶傷病名：くるぶし内側の切創
- ▶作業内容：下刈り

発生状況

傾斜40度で背負式の刈払機で下刈りを実施。

斜面よりやや下方向に作業進行中、左前方にあった切り株に刈刃が接触しキックバックが発生した。

研修生の右足のくるぶし下(内側)に刃が当たり切創を負った。



原因

刈刃が伐根に当たったことによるキックバックの発生。

再発防止対策

- 急斜面であっても腰バンド、股バンドの着装は必要。また、研修生はツングリップでなくUハンドルの刈払機を使用する。
- 肩バンドとスパイク地下足袋(甲ガード付き)及びすねガードは着用。



背負式。肩掛式での固定
ベルト未着の場合



斜面で足を滑らせて足が前方へ飛び出したとき、刈刃がひざ下に接触する危険があります

斜面で転倒した場合のリスク

草の陰に隠れた切り株に気付かず、刈刃が当たりキックバックが発生して左足に当たった

📎 災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：7月 ▶FW研修：1年目
▶年齢：32歳 ▶受傷部位：左足 ▶傷病名：甲部の切創 ▶作業内容：下刈り

👤 発生状況

傾斜10度の現場で刈払機を用いて下刈りを実施。

草の陰に隠れた切り株に気付かなかったため、刈払機の刃が当たりキックバックが発生した。

研修生の左足の甲部に当たり切創を負った。



 **原因**

刈刃が伐根に当たったことによるキックバックの発生。

 **再発防止対策**

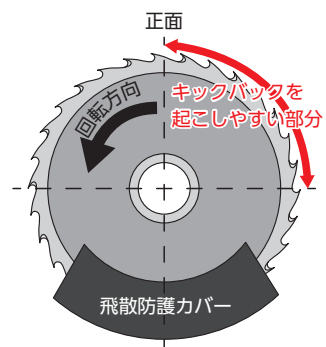
● 転倒・キックバックを想定して、腰バンド、股バンドの装着は必要。また、研修生はUハンドルの刈払機を使用する。

● **刈刃の鋸断位置、キックバック防止** ●

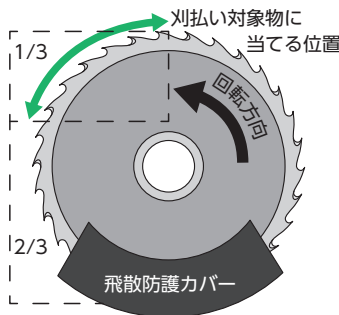
キックバックとはその言葉の示すとおり、鋸断対象物に回転する刃物が当たった時、跳ね返される現象です。

刈払機の刈刃は円盤状なのでキックバックは刃の全周のどこでも起こります。右方向へ跳ね返るキックバックだけではなく、刈刃(操作桿)が、自らの方向に向かってくることがあります。特に刈刃のキックバックが起こりやすい部分(左図)があります。雑草やかん木に隠れている伐根などを確かめながら作業を進めます。

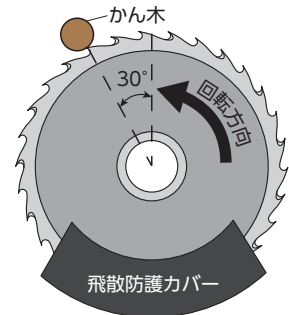
刈刃を対象物に当てる位置は、安全な切断ができる箇所とし、かん木等を刈払う時には正面から30度の位置で、真横に切り込む形で当てるようにします。



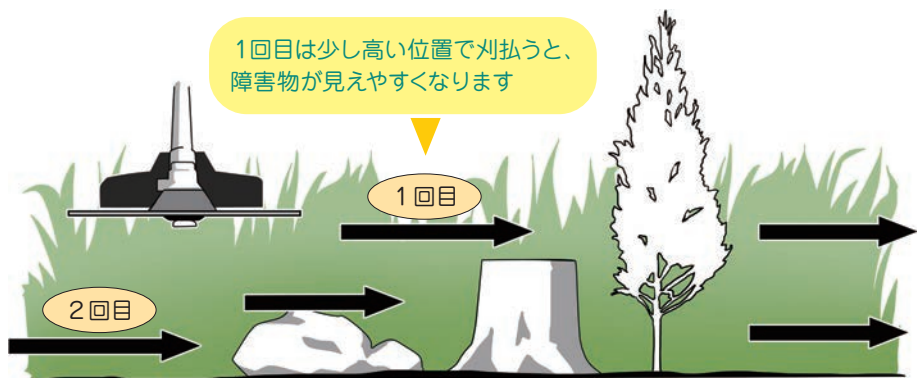
キックバックを起こしやすい部分



草類の刈払い位置



かん木等の刈払い位置



二段刈りによるキックバック対策

支障木を刈払い中に、枯れ草に隠れていた伐根に当たりキックバックし、右足すねに切創を負った

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：12月 ▶FW研修：3年目
- ▶年齢：33歳 ▶受傷部位：右足ひざ ▶傷病名：切創
- ▶作業内容：伐木準備

発生状況

傾斜25度程度。林齢65年、スギ主伐の準備として、刈払機により支障木を刈払い。6名と10m程度の距離を保ちながら研修生と指導員は隣あって作業を実施。枯れ草に隠れていた伐根に当たりキックバックし、右足すねに切創を負った。研修生は自力で歩けたことから指導員の肩を借りて駐車位置に移動し、医院で受診。

検証では肩掛バンドの長さが若干長かったこと、足の位置が前すぎ被災の危険度が高かったことが考えられた。



原因

刈払機のキックバック。

再発防止対策

- 研修生にはUハンドル刈払機、腰バンド、股バンド着装により研修をさせる。
- 肩バンドをラフに首から下げるだけ等をしていないように徹底する。



その日作業する場所の地形に合わせて、
ハーネスの長さを急斜面では短めに、
傾斜の少ないところでは長めに調整します

ハーネスの調整



前面バイザー
ヘルメット
イヤマフ
肩バンド (ダブル型)
腰バンド
股バンド

ヘルメット
吊りバンド
ヨシ！
足元ヨシ！

お互いに安全をチェック
する習慣を付けましょう

防振グローブ

すねガード

防護機能のある履き物
(甲ガード付き先芯入り地下足袋)

作業者同士で装備をチェック